

第 3 章

水 質 汚 濁

第3章 水 質 汚 濁

第 1 節 市内主要河川の水質調査

本市域を流れる主な河川には、斎川・下川・日高川・熊野川・王子川・楠井川があり、いずれも二級河川である。

令和6年度は、これら6河川の6地点(図1)において、4回の水質調査を実施した。調査項目は、水素イオン濃度(pH)・溶存酸素量(DO)・生物化学的酸素要求量(BOD)・化学的酸素要求量(COD)・浮遊物質(SS)・大腸菌数等の14項目で、測定結果は(表1～6)のとおりである。また、日高川においては、全亜鉛等の3項目についても、2回の調査を実施している。

過去の年平均値については、(表7～12)を参照のこと。

◇pHについては、最小値は下川の6.8、最大値は熊野川の9.3であった。また、年平均値の最小値は下川の7.2、最大値は熊野川の8.3であった。高くなる理由としては、藻等の生息、海水の混入、塩基性の温泉等の混入、人為的影響としてコンクリートの溶出や人工廃水の中和に用いる石灰岩や消石灰などがある。その他、生活排水などによっても影響がある。

◇BODについては、最大値は下川の3.8mg/ℓ、年平均値の最大値は下川の1.7mg/ℓであった。

◇CODについては、最大値は王子川の11.0mg/ℓであった。SSの多い水ではCODの値が高くなる場合が多く、浮遊物質に由来する可溶性の有機物も多いためではないかと考えられる。

◇SSについては、最大値は王子川の25.0mg/ℓ、年平均値の最大値も王子川の18.8mg/ℓであった。王子川でSSの値が高くなった原因としては、水量が少なく、藻が繁茂していたことが原因ではないかと考えられる。

◇DOについては、最小値は王子川の5.0mg/ℓ、年平均値の最小値も王子川の7.2mg/ℓであった。水温によって水に溶ける酸素量が変わり、水温が低いほどよく溶ける。本年度は、いずれの河川も河川Aの環境基準7.5を満足する日は14日ほどであった。

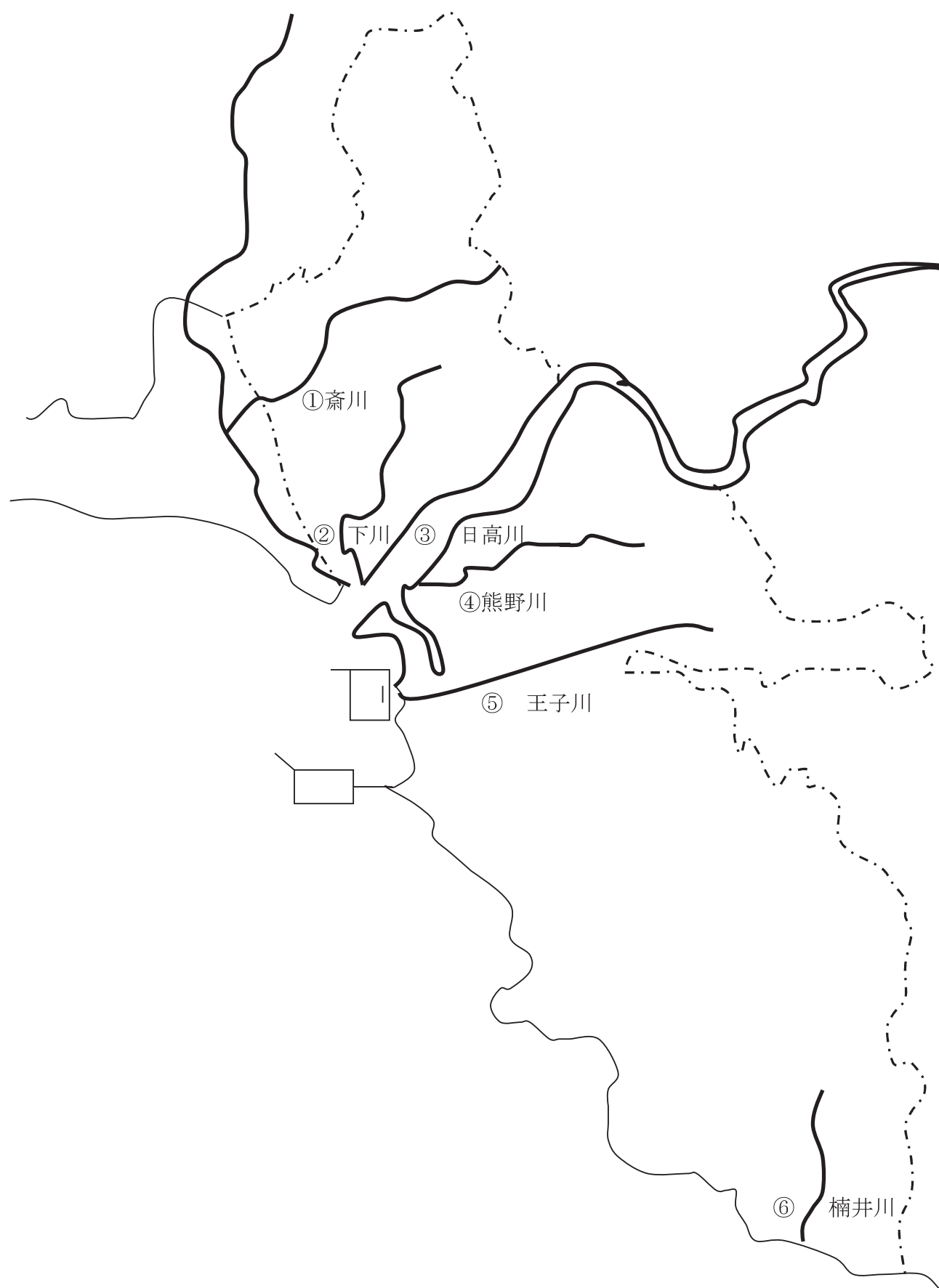
◇大腸菌数については、最大値は熊野川の5,040CFU/100ml、年平均値の最大値も熊野川の1,900CFU/100mlであった。この値については、生活雑排水等の混入などにより高い値を示す。

◇全窒素については、最大値は王子川の7.95mg/ℓであった。この値が高くなると、微生物(プランクトン)などが異常繁殖し、魚介類などが死滅する。

◇全リンの最大値は、下川の0.41mg/ℓであった。この値が高くなると、全窒素と同様の現象が起きる。

◇その他の項目については、定量下限値未満及び検出されなかった。

(図1) 市内主要河川の採取地点図



(表1) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 斎川 (採水地点=斎橋) ①

調査年月日	単 位	R6.5.7	R6.8.1	R6.11.19	R7.2.17
時 刻		9時34分	9時51分	13時25分	9時01分
気 温	℃	21.0	36.0	16.5	11.2
水 温	℃	19.3	29.3	14.7	8.8
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡茶色	無色透明	無色透明	淡黄色
濁 り		微	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.3	7.6	8.2	7.4
B O D	mg/ℓ	0.7	検出されず	検出されず	0.9
C O D	mg/ℓ	4.2	1.4	1.4	9.8
S S	mg/ℓ	5.5	1.7	6.0	2.5
D O	mg/ℓ	7.3	7.0	10.3	7.2
大腸菌数	CFU/100mℓ	1,700	280	620	200
カドミウム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/ℓ	1.00	0.19	0.43	0.43
全 リ ン	mg/ℓ	0.11	検出されず	0.05	検出されず

(表2) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 下川 (採水地点 = 中島橋) ②

調査年月日	単 位	R6.5.7	R6.8.1	R6.11.19	R7.2.17
時 刻		9時47分	10時11分	13時42分	9時16分
気 温	℃	21.0	36.5	12.5	11.7
水 温	℃	20.3	29.6	13.5	8.9
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		無色透明	無色透明	無色透明	淡黄色
濁 り		なし	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.0	7.4	7.7	6.8
B O D	mg/ℓ	1.1	0.8	1.0	3.8
C O D	mg/ℓ	3.0	2.6	2.4	6.8
S S	mg/ℓ	4.0	14.0	1.2	3.7
D O	mg/ℓ	7.8	7.3	10.8	7.9
大腸菌数	CFU/100mℓ	680	220	1,600	1,200
カドミウム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/ℓ	1.13	0.52	0.95	2.38
全 リ ン	mg/ℓ	0.14	0.09	0.15	0.41

(表3) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 日高川(採水地点=野口新橋)③

調査年月日	単 位	R6.5.7	R6.8.1	R6.11.19	R7.2.17
時 刻		10時02分	10時30分	14時07分	9時36分
気 温	℃	21.0	32.0	12.0	9.2
水 温	℃	19.7	28.2	14.6	8.9
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡茶色	無色透明	無色透明	無色透明
濁 り		微	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.4	7.6	7.4	7.1
B O D	mg/ℓ	検出されず	0.6	検出されず	0.8
C O D	mg/ℓ	1.8	1.2	0.8	1.0
S S	mg/ℓ	3.8	1.2	2.0	1.5
D O	mg/ℓ	6.8	6.6	9.4	7.1
大腸菌数	CFU/100mℓ	330	18	52	146
カドミウム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/ℓ	0.25	0.15	0.31	0.17
全 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 亜 鉛	mg/ℓ		検出されず		検出されず
ノニルフェノール	mg/ℓ		検出されず		検出されず
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/ℓ		検出されず		検出されず

(表4) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 熊野川 (採水地点 = 第二釜屋橋) ④

調査年月日	単 位	R6.5.7	R6.8.1	R6.11.19	R7.2.17
時 刻		10時14分	10時55分	14時35分	9時57分
気 温	℃	21.0	37.0	16.0	8.8
水 温	℃	20.1	30.6	15.6	8.4
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡茶色	無色透明	淡黄色	淡黄色
濁 り		微	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.9	7.3	9.3	8.8
B O D	mg/ℓ	1.2	2.1	0.8	1.1
C O D	mg/ℓ	7.0	7.6	4.0	3.8
S S	mg/ℓ	11.0	4.5	1.7	6.0
D O	mg/ℓ	7.8	8.3	12.5	8.2
大腸菌数	CFU/100mℓ	240	1,100	1,220	5,040
カドミウム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/ℓ	1.51	0.64	0.66	0.67
全 リ ン	mg/ℓ	0.18	0.12	0.11	0.05

(表5) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 王子川 (採水地点 = 塩屋町北塩屋1474番地1先) ⑤

調査年月日	単 位	R6.5.7	R6.8.1	R6.11.19	R7.2.17
時 刻		10時30分	11時15分	14時50分	10時14分
気 温	℃	21.0	32.5	14.0	9.0
水 温	℃	20.0	31.7	14.6	8.8
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡茶色	淡黄色	淡黄色	淡黄色
濁 り		微	なし	なし	微
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.0	7.3	7.7	7.7
B O D	mg/ℓ	1.6	1.9	1.0	0.7
C O D	mg/ℓ	11.0	8.4	4.0	5.6
S S	mg/ℓ	22.0	12.0	16.0	25.0
D O	mg/ℓ	7.5	5.0	8.6	7.5
大腸菌数	CFU/100mℓ	3,000	100	136	170
カドミウム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/ℓ	1.16	1.43	4.22	7.95
全 リ ン	mg/ℓ	0.12	0.10	検出されず	検出されず

(表6) 河川の水質調査結果一覧表

河川名 : 楠井川(採水地点=濱側橋)⑥

調査年月日	単 位	R6.5.7	R6.8.1	R6.11.19	R7.2.17
時 刻		11時00分	11時39分	15時20分	10時39分
気 温	℃	21.0	32.5	13.0	11.4
水 温	℃	19.3	30.8	13.9	9.1
位 置		流心部	流心部	流心部	流心部
色 相		淡茶色	淡茶色	無色透明	無色透明
濁 り		微	なし	なし	なし
臭 気		無臭	無臭	無臭	無臭
p H		7.3	7.3	7.7	7.6
B O D	mg/ℓ	1.1	1.1	検出されず	0.6
C O D	mg/ℓ	9.0	4.6	2.5	3.0
S S	mg/ℓ	5.0	3.8	1.8	0.8
D O	mg/ℓ	6.7	7.2	9.5	6.9
大腸菌数	CFU/100mℓ	2,800	400	540	90
カドミウム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ ア ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有 機 リ ン	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ 素	mg/ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg/ℓ	1.11	1.03	0.89	0.52
全 リ ン	mg/ℓ	0.08	0.12	検出されず	検出されず

(表 7) 斎川の水質 (年平均値)

測定地点：斎橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数MPN/100mℓ
					※大腸菌数CFU/100mℓ
R2	7.3	1.6	2.1	7.8	12,200
R3	7.4	0.8	1.6	7.7	70,300
R4	7.4	0.9	1.4	8.0	15,260
R5	7.4	0.4	2.0	6.8	963
R6	7.6	0.4	3.9	8.0	700

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

(表 8) 下川の水質 (年平均値)

測定地点：中島橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数MPN/100mℓ
					※大腸菌数CFU/100mℓ
R2	6.9	8.4	6.3	8.3	73,800
R3	7.1	2.4	2.5	7.5	182,000
R4	7.0	1.4	3.1	7.3	583
R5	7.1	1.0	6.9	7.0	1,193
R6	7.2	1.7	5.7	8.5	925

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

(表 9) 日高川の水質 (年平均値)

測定地点：野口新橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数MPN/100mℓ
					※大腸菌数CFU/100mℓ
R2	7.3	0.9	1.2	7.8	4,700
R3	7.1	1.4	1.6	7.7	4,330
R4	7.1	0.8	1.0	8.6	31
R5	7.1	0.3	0.6	6.9	45
R6	7.4	0.4	2.1	7.5	137
環境基準	6.5～8.5	2 以下	25以下	7.5以上	300以下

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

(表10) 熊野川の水質（年平均値）

測定地点：第二釜屋橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数MPN/100mℓ
					※大腸菌数CFU/100mℓ
R2	8.9	3.6	20.0	9.7	35,800
R3	9.5	2.0	4.5	8.3	3,008
R4	9.8	1.5	3.6	12.2	150
R5	9.2	0.9	5.2	9.1	347
R6	8.3	1.3	5.8	9.2	1,900

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

(表11) 王子川の水質（年平均値）

測定地点：塩屋町北塩屋1474番地1先

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数MPN/100mℓ
					※大腸菌数CFU/100mℓ
R2	7.4	6.9	3.7	7.0	12,200
R3	7.6	5.3	3.6	7.1	9,300
R4	7.5	1.1	7.1	7.0	106
R5	7.5	0.6	17.2	7.0	568
R6	7.4	1.3	18.8	7.2	852

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

(表12) 楠井川の水質（年平均値）

測定地点：濱側橋

項目 単位 年度	p H	BOD mg/ℓ	S S mg/ℓ	D O mg/ℓ	大腸菌群数MPN/100mℓ
					※大腸菌数CFU/100mℓ
R2	7.7	1.8	4.7	7.2	84,600
R3	7.8	1.0	2.0	8.1	14,200
R4	7.6	0.9	2.7	8.7	6,038
R5	7.4	0.5	2.4	6.8	335
R6	7.5	0.7	2.9	7.6	958

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

第 2 節 水質の汚濁に係る環境基準

令和 3 年改正

人の健康の保護に関する環境基準

基 準 値							
カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B
0.003mg/L 以下	検出されないこと	0.01mg/L 以下	0.02mg/L 以下	0.01mg/L 以下	0.0005mg/L 以下	検出されないこと	検出されないこと

基 準 値							
ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン
0.02mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.004mg/L 以下	0.1mg/L 以下	0.04mg/L 以下	1mg/L 以下	0.006mg/L 以下	0.01mg/L 以下

基 準 値							
テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
0.01mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.006mg/L 以下	0.003mg/L 以下	0.02mg/L 以下	0.01mg/L 以下	0.01mg/L 以下	10mg/L 以下

基 準 値		
ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
0.8mg/L 以下	1mg/L 以下	0.05mg/L 以下

- ※ 1) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については最高値とする。
 2) 「検出されないこと」とは、定量限界を下回ることをいう。

第 3 節 水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（御坊市関係）

<河川（湖沼を除く。）>

昭和49年10月19日

告示第713号

公害対策基本法（昭和42年法律第132号）第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令（昭和46年政令第159号）第1項の規定により、別表水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）の別表2の2に掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水 域	該当類型	達成期間	備 考
日高川水域	日高川 (天田橋から上流の水域)	A	直ちに達成	

平成26年10月10日

告示第1254号

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第2項の規定により、別表水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示第59号）別表2の1（1）イに掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水 域	該当類型	達成期間	備 考
日高川水域	日高川 (天田橋から椿山ダムまでの水域)	生物B	直ちに達成	

<海域>

昭和 5 9 年 4 月 5 日

告 示 第 2 4 8 号

公害対策基本法（昭和 4 2 年法律 1 3 2 号）第 9 条第 2 項並びに環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令（昭和 4 6 年政令第 1 5 9 号）第 1 項の規定により、次の表の水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準（昭和 4 6 年環境庁告示第 5 9 号）の別表 2 の 2 に掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、該当水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水 域	該当類型	達成期間	備 考
御坊市及び美浜町の地先海域	別記の水域	A	直ちに達成	

別記

紀伊日の御岬燈台と紀伊日の御岬燈台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬に至る直線の線上で紀伊日の御岬燈台から 1, 0 0 0 メートルの地点を結んだ直線、同地点から壁川崎の北緯 3 3 度 5 0 分 3 1 秒東経 1 3 5 度 9 分 5 8 秒の地点を結んだ直線及び陸岸に囲まれた水域並びに日高川天田橋、西川西川大橋、西川西川小橋及び熊野川昭和橋の各下流の河川の区域に含まれる水域

生活環境の保全に関する環境基準

河川(湖沼を除く。)

ア

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃度 (PH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
AA	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	20CFU/ 100ml以下
A	水道2級 水産1級 及びB以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	300CFU/ 100ml以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	1,000CFU/ 100ml以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/ℓ以下	50mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲 げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/ℓ以下	100mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/ℓ以下	ごみ等の浮遊 が認められな いこと	2mg/ℓ以上	—

- (注)1. 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
 2. 水道1級 : ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級 : 沈殿ろ過等による通常の浄化操作を行うもの
 水道3級 : 前処理等を伴う高度の浄化操作を行うもの
 3. 水産1級 : ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級
 及び水産3級の水産生物用
 水産2級 : サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産
 3級の水産生物用
 水産3級 : コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 4. 工業用水1級 : 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級 : 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級 : 特殊の浄水操作を行うもの
 5. 環境保全 : 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を
 生じない限度

河川(湖沼を除く。)

イ

項目 類型	水生生物の生息 状況の適応性	基 準 値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼ ンスルホン酸及びそ の塩
生物 A	イワナ、サケマス等比 較的低温域を好む水 生生物及びこれらの 餌生物が生息する水 域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物 特A	生物Aの水域のうち、 生物Aの欄に揚げる 水生生物の産卵場 (繁殖場)又は幼稚仔 の生育場として特に 保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高 温域を好む水生生物 及びこれらの餌生物 が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物 特B	生物A又は生物Bの 水域のうち、生物Bの 欄に揚げる水生生物 の産卵場(繁殖場)又 は幼稚仔の生育場と して特に保全が必要 な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下

海域

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃度 (PH)	化学的酸素 要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)
A	水産1級 自然環境保全 及びB以下の欄 に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	20CFU/ 100ml以下	検出されないこと
B	水産2級 工業用水及び Cの欄に掲げる もの	7.8以上 8.3以下	3mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	—	検出されないこと
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	—	—

- (注) 1. 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
 2. 水産1級 : マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用
 水産2級 : ボラ、ノリ等の水産生物用
 3. 環境保全 : 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を
 生じない限度

第 4 節 水生生物による水質調査

川の汚れを判断する指標となる 29 種類の水生生物があり、平成 6 年度から日高川河畔にて、水生生物による水質調査を行っている。

令和 6 年度は、環境衛生課と公益財団法人御坊市ふれあいセンターとの共催で、和歌山県環境衛生研究センター職員を講師に迎え、野口小学校・藤田小学校の 4 年生児童を対象に、環境教育の一環として、日高川の水質を知ってもらうとともに、水辺をはじめとする自然に親しむことにより、環境保全について関心を育むことを目的とした「水辺教室」を実施した。

当日は好天気に恵まれ、ヒラタカゲロウ類やヨコエビ類などを中心に、きれいな水に住んでいる水生生物を採取することができ、水質階級の判定では、「水質階級Ⅰ（きれいな水）」であることを確認した。

<調査結果>

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類に●印をつけています)			
水質階級Ⅰ (きれいな水)	1	アミカ類	
	2	ナミウズムシ	
	3	カワゲラ類	
	4	サワガニ	○
	5	ナガレトビケラ類	○
	6	ヒラタカゲロウ類	●
	7	ブユ類	
	8	ヘビトンボ	
	9	ヤマトビケラ類	
	10	ヨコエビ類	●
水質階級Ⅱ (ややきれいな水)	11	イシマキガイ	
	12	オオシマトビケラ	○
	13	カワニナ類	
	14	ゲンジボタル	
	15	コオニヤンマ	
	16	コガタシマトビケラ類	○
	17	ヒラタドロムシ類	○
	18	ヤマトシジミ	
水質階級Ⅲ (きたない水)	19	イソコツブムシ類	
	20	タニシ類	
	21	ニホンドロソコエビ	
	22	シマイシビル	
	23	ミズカマキリ	
	24	ミズムシ	
水質階級Ⅳ (とてもきたない水)	25	アメリカザリガニ	
	26	エラミミズ	
	27	サカマキガイ	
	28	ユスリカ類	
	29	チョウバエ類	

<水辺教室の様子>

